



記者会見する志位和夫委員長
(日本共産党ホームページより)

国民は改憲に白紙委任せず

日本共産党 9条破壊は許さない

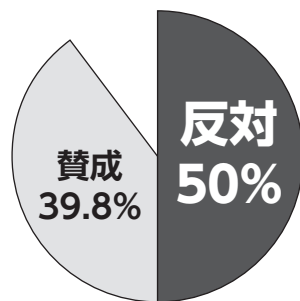
参院選で自民党は56議席、公明党は14議席を獲得し、おおさか維新などを加えて改憲勢力は、非改選勢力と合わせて参院の3分の2（162議席）を超えました。安倍政権の下で改憲勢力が衆参で改憲発議に必要な3分の2を占めたことは重大です。

しかし安倍首相、自公は選挙戦で「憲法隠し」に終始しました。国民が改憲への「白紙委任」を与えた訳では決してありません。

出口調査 改憲反対が多数

安倍首相が改憲に意欲を示しているのに対し、メディアが実施した参院選の出口調査では改憲反対の国民の意思が鮮明です。

「安倍晋三首相の下での憲法改正」について尋ねた「共同」調査では、反対が50%と賛成の39.8%を大きく上回りました。改憲派の政党を支持している層でも、公明党で39.6%、おおさか維新の会で48.5%が反対。「時事」の調査では「憲法改正」反対が36%で賛成を6.4%上回りました。



安倍政権下での改憲
(共同出口調査)

無党派6割が統一候補に

1人区では、野党統一候補が無党派層の6~8割を獲得していたことが、メディアの出口調査で分かりました。

「朝日」では無党派層の56%が野党統一候補に投票。山形では79%、沖縄でも71%に上りました。公明党支持層でも24%が統一候補に投票しました。

「共同」では、無党派層の56%が統一候補に投票。32の1人区のうち26で統一候補が自民党候補を上回り、山形、新潟、愛媛、沖縄では統一候補が7割前後を占めました。

野党統一候補が勝利した1人区の11選挙区

- ①青森県
- ②岩手県
- ③宮城県
- ④山形県
- ⑤福島県
- ⑥新潟県
- ⑦山梨県
- ⑧長野県
- ⑨三重県
- ⑩大分県
- ⑪沖縄県

野党共闘



市田忠義さん 「戦争させない」

歴代9人の首相と論戦した「練達の政治家」。一度は引退を表明しましたが、安倍首相の改憲策動に再び国政復帰を決意。8人きょうだいのうち4人は戦争に関わって命を落としています。「憲法9条は、二度と戦争はしない、の思いが凝縮したもの。絶対に変えさせるわけにはいきません」

1942年生まれ。98年参院選初当選。2000年書記局長、14年副委員長。環境委員、4期目。

近畿 当選者の横顔



大門実紀史さん 経済論戦鋭く

アベノミクスやタックスヘイブンを鋭く切り込み、閣僚もうならせる「経済論戦の第一人者」。人柄がにじみ出る優しい文章のエッセイは人気。京都市生まれ、中学校の恩師の言葉「意気に感じる心を大切に」を心に刻んでいます。「近畿と国政の懸け橋に」と大きな意欲を燃やしています。

1956年生まれ。党参院国対副委員長、党中央委員。予算委員、財政金融委員、4期目。